

議会だより



しろさと

SHIRO SATO

町の木 スタジィ



「七会西小の閉校記念式典」

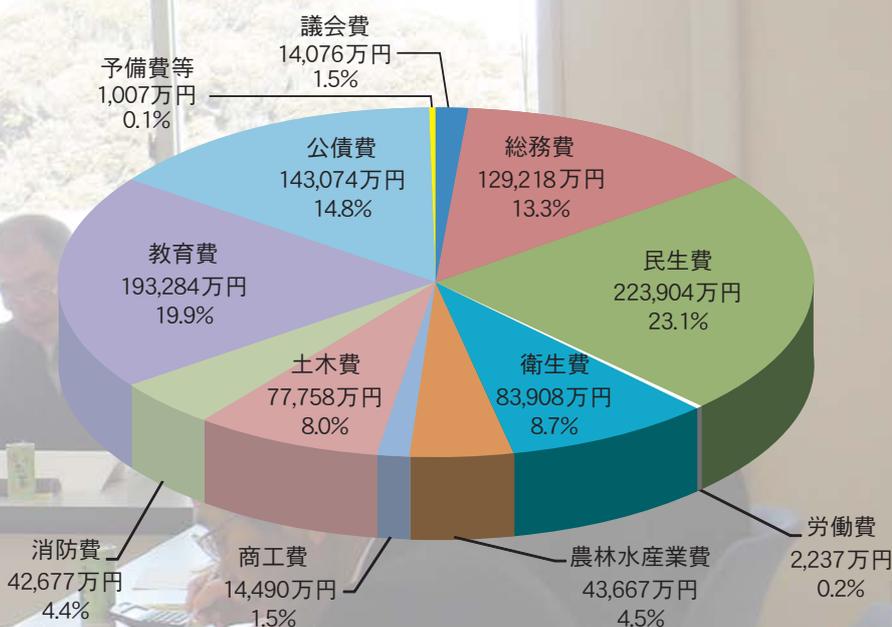
平成23年度予算 一般会計のうちわけ……………	2
予算特別委員会報告……………	4
3月定例会で決まったこと……………	6
議会の動き……………	10
お知らせ……………	12

計のうちわけ

予算総額96億9,300万円

第1回 議会定例会

歳出（町で使うお金）



定例会は、3月8日から17日の10日間の会期で開催され、条例改正5件、条例制定1件、契約の締結1件、その他3件、補正予算7件、予算7件、人事案件3件、選挙1件の議案を審議し、すべて原案どおり可決・同意されました。また、請願3件、陳情1件、報告13件がありました。

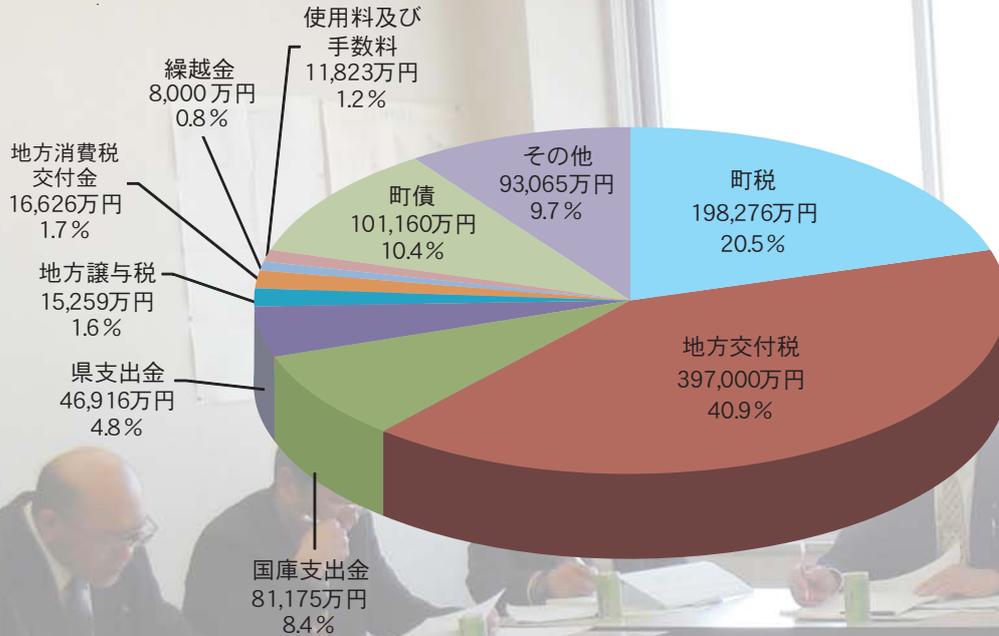
町長の施政方針（抜粋）

平成23年度は、各種事業の緊急性や重要性を精査したうえで、子宮頸がんをはじめヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの3種の新たな接種費助成や国際理解教育のための講師派遣事業など、公約の実現に向けた施策を重点的に展開するほか、継続事業である常北中学校校舎改築事業の早期完成、小学校再編後の円滑な学校運営、児童にとって快適な学習環境を実現するための教育環境整備などへ優先的に予算配分を行いました。

また、昨年度が緊急総合経済対策のため示した補正予算と当初予算を一体的に捉え、切れ目なく経済対策事業を実施し、これまで以上に選択と集中を進め、城里町総合計画（後期計画）に沿って予算編成をしたところであります。

平成23年度予算一般会

歳入（町に入るお金）



一般会計の主な事業

(万円)

事業名	事業費	内容
自治振興交付金	903	区及び自治会の運営補助 (54区 454自治会)
デマンド交通システム運行補助	1,820	デマンド交通（ふれあいタクシー）に対する運行補助
医療福祉（マル福）事業	9,869	妊産婦・小児・母子・父子・重度身障者への医療費助成
敬老事業	1,041	75歳以上の方を招待し、敬老会式典を開催。88歳以上の方に敬老祝い金支給
障害福祉サービス事業	19,956	障害の程度や状況に応じて、在宅支援・日中活動支援・居宅支援の決定をし、障害福祉サービス費を支給
次世代育成支援金	800	出生祝金・子育て支援金の支給
こども手当事業	41,577	0歳から中学校終了前までの子どもを対象に支給
保育園運営費委託事業	25,120	民間保育園入所児童に要する費用の支援
予防接種事業	5,550	感染症の予防及び疾病の流行を抑える（子宮頸がん・ヒブ・肺炎球菌等のワクチンの追加）
生産調整対策補助	3,300	転作田及び加工用米への補助
観光施設の管理運営	5,877	ふれあいの里・うぐいすの里・山びこの郷・ホロルの湯の管理運営に対する指定管理料
町道維持補修事業	4,700	維持補修のための設計・工事費（町内一円）
常北中学校建設事業	98,557	常北中学校校舎の改築
ふれあいの船事業	1,080	町内の小学6年生を対象とし、北海道の自然の中での宿泊学習

予算特別委員会での主な 質疑・答弁

第1回定例会初日の3月8日、町長から提案された平成23年度城里町予算（7会計）について詳細に審査するため予算特別委員会が設置されました。
予算審議は各議員が広く審議を行うことができるよう、常任委員会ごとの分科会方式により所管分の審査を行いました。各委員会での質疑、答弁等の主なものは次のとおりです。



委員会の審議状況

総務民生常任委員会

総務民生常任委員会は、会期中の3月10日の委員会を開催し、平成23年度一般会計予算の所管分・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計の予算について審査しました。

（一般会計）

歳入

問 入湯税の減収について。

答 ゴルフ場の利用が減っているため、少なくとも見込んだものである。

問 広告掲載料は、何の広告なのか。

答 広報しろさとへの広告料45万円、ホームページバナー広告5万円のものである。

問 農園整備事業債は、どう

いうものなのか。

答 農園整備事業を行うということで、2,000万円の事業費を組んでおり、その起債をあてている。

歳出

問 自治振興交付金は、どう

いう意味あいでは3万円を交付しているのか。

答 区全体の振興費として、1区3万円を計上している。

問 火の見撤去の場所は、どこか。

答 桂地区の御前山と七会地区の下赤沢にある火の見である。

問 たかだ荘の使用状況は、

答 1時間あたり3〜4人の予約をとっている。

（国民健康保険特別会計）

問 歯科において、1日あたり何人ぐらいで予約をとっているのか。

答 かつらについては、3月1日現在で、52名。ななかいについては、48名である。

答 利用は、年間20日ぐらいである。

問 かつら・ななかい保育所の保育人数は何人か。

問 七会診療所建設検討委員会は、何回ぐらい開催予定なのか。

答 委員が15人で、6回を予定している。

問 脳ドック・人間ドックの補助は、1人あたりいくらなのか。



答 7割補助で、限度額が

人間ドックで27,850円、脳ドック40,750円で予算を組んでいる。

教育産業常任委員会

教育産業常任委員会は、会期中の3月11日の委員会を開催し、平成23年度一般会計予算の所管分・公共下水道事業・農業集落排水事業・水道事業会計の予算について審査しました。

(一般会計)

歳入

問 桂図書館利用カード再発行手数料で発行するのに実際いくらかかるのか。

答 実費で500円かかる。

初回発行は、無料である。



問 建築確認において課税して、何か指導等しているのか。

答 県と合同で定期的に建築パトロールをしている。そのメンバーとして建築士会の方も入っている。

問 合併浄化槽設置事業費補助金の内訳は。

答 一般分として、17機、七会地区においては、高度処理型として2機、全体で19機を予定している。

歳出

ていくのか。

答 図面を作成し、重点地区を絞り、農業委員により調査をし、遊休農地の対策に努めていきたい。

問 A L T講師の採用方法は。

答 個人と直接契約する。今、8名の応募があり、面接して採用していきたい。

問 小学校の草刈り委託料の増額の理由は。

答 閉校になった5校分で、使わなくなる運動場分の増額である。

問 那珂川沿岸農業水利事業の今の進捗状況は。

答 御前山ダムがほぼ完成し、平成23年度の6月ごろから水を貯め、漏水等の調査をすることになっている。

問 新規就農者支援事業でどのくらいの問い合わせがあるのか。

答 問い合わせ等は、かなりきているが、条件をクリア出来る者がなかなかいない、今のところ1名だけ平成22年度は受け入れている。

問 遊休農地図面作成業務委託後は、どのようにし



委員会の審議状況

まったこと



条例改正

▽特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する条
例の一部改正

消費生活相談員の設置に伴う報
酬額の設定
7,200円

▽特別職の職員で常勤のもの
給与及び旅費に関する条例の一
部改正

町長10%及び副町長5%それぞ
れの給料の減額
町長 738,000円
副町長 600,000円
平成24年3月まで

▽教育長の給与、勤務時間そ
他の勤務条件に関する条例の一
部改正

教育長5%の給料の減額
530,000円
平成24年3月まで

▽使用料及び手数料条例の一部
改正

県央地域構成市町村による広域
連携事業に新たに小美玉市が加
わったため

▽医療福祉費支給に関する条例
の一部改正

県において妊産婦医療費助成制
度の見直しが行われたため

▽老人保健特別会計の廃止に伴
う経過措置に関する条例の制定

老人保健特別会計が廃止される
ことに伴い、経過措置として出納
整理期間を設ける条例を制定

契約の締結

▽農業集落排水事業古内地区処
理施設土木工事

契約金額
72,975,000円
契約の相手方
鈴縫・常北特定建設
工事共同企業体

その他

▽汚泥焼却炉施設等の建設及び
維持管理に関する事務の委託に
関する規約の一部変更

茨城県流域下水道事業が地方公
営企業法の一部に適用されること
に伴い、変更が生じ、議会の議決
を求めるもの

▽公の施設の広域利用

広域利用に指定する公の施設に
ついて、協議を行う必要が生じた
ため、議会の議決を求めるもの

▽町道の認定

次の路線が認定されました。

- 1533号線
- 石塚地内(延長56m)
- 3315号線
- 下古内地区(延長35m)
- 81160号線
- 錫高野地内(延長230m)
- 207号線
- 徳蔵地内(延長90m)

3月定例会で決



平成22年度補正予算

一般会計

追加補正 4,098万円

総額 98億8,704万円に

歳入の主なもの

保育料保護者負担金	589万円
国庫負担金	△1,059万円
次世代育成支援対策交付金 (国庫補助金)	546万円
統計調査費委託金	△208万円
ふるさと応援寄附金	65万円
基金繰入金	4,270万円
町債	△460万円

歳出の主なもの

他会計へ	8,048万円
国勢調査員報酬	△136万円
地域子育て支援拠点事業補助	△355万円
子ども手当	△999万円
特別保育事業費補助	△441万円
害虫発生源現地調査業務委託	△100万円
水田農業推進協議会補助	△173万円
用排水路及び農道改良工事 (農地費関係)	△235万円
町道維持移転補償物件費	△200万円
水道管移設補償・物件移転補償 (都市計画関係)	△1,019万円
教科指導補助員報酬	△344万円

特別会計

6 特別会計の補正

会計別		補正額	補正後の額
国保	保険事業	693万円	23億8,238万円
	診療所	△504万円	2億5,313万円
後期高齢者医療		△116万円	2億775万円
介護	保険事業	151万円	14億9,402万円
	介護サービス	△120万円	449万円
公共下水道事業		△1,304万円	10億6,174万円
農業集落排水事業		△1,958万円	11億5,434万円
水道	収益的収入・支出	△1億770万円	7億4,989万円
	資本的収入	△2,380万円	6,118万円
	資本的支出	△3,336万円	2億7,588万円

平成23年度予算

特別会計 6事業特別会計

会計別		予算額	前年度当初比
国保	保険事業	23億5,910万円	1.2%
	診療所	2億5,835万円	1.1%
後期高齢者医療		2億 658万円	△ 0.4%
介護	保険事業	14億4,811万円	3.4%
	介護サービス	414万円	△27.2%
公共下水道事業		11億3,534万円	5.0%
農業集落排水事業		5億9,457万円	△34.7%
水道	収益的収入・支出	6億7,256万円	
	資本的収入	2億1,997万円	
	資本的支出	4億5,124万円	

人事

▽副町長の選任同意

赤津副町長退任に伴い、次の方の選任に同意しました。

小山 一 夫氏（那珂西）

任期

平成23年4月1日から

平成27年3月31日まで

▽固定資産評価審査委員会委員の選任同意

任期満了に伴い、次の方の任命に同意しました。

加倉井 幹 由氏（上古内）

小林 悦 雄氏（高久）

阿久津 精 一氏（塩子）

任期

平成23年4月1日から3年間

▽教育委員会委員の任命同意

任期満了に伴い、次の方の任命に同意しました。

小野 昭氏（石塚）

任期

平成23年4月1日から4年間

選挙

▽茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙

任期満了に伴い、次の議員が当選しました。

当選人 阿久津 則男

任期

平成25年3月19日まで

請願審査結果

▽TPP交渉参加反対に関する緊急請願

我が国の食料安全保障と両立できないTPP交渉への参加に反対であるとし、採択することに決定しました。
※茨城中央・水戸農業協同組合からそれぞれ申請がありました。

▽常北幼稚園の預かり保育と三年保育の実施に関する請願

町民が安心して大事な子どもを預けられ、仕事に従事できるように、採択することに決定しました。

陳情審査結果

▽保育制度改革に関する意見書提を求める陳情書

現在、国において新たな保育制度について検討中であるため閉会中の継続審査とすることに決定しました。

審議した議案と各議員の賛否（第1回定例会・第1回臨時会）

○は賛成、×は反対、－は欠席

議案名	藺部一	余水紀夫	三村孝信	河原井大介	関誠一郎	加藤文夫	阿久津則男	桐原健一	小林祥宏	南條治	杉山清	三村由利子	小松崎三夫	鯉淵秀雄	根本正典	小坪孝
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
使用料及び手数料条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
医療福祉費支給に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
老人保健特別会計の廃止に伴う経過措置に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
汚泥焼却炉施設等の建設及び維持管理に関する事務の委託に関する規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設の広域利用に関する協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副町長の選任同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
保育制度改革に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長のため採決に加わっていない

今回の一般質問Q & Aについては、3月定例会において、5名の議員の一般質問の予定でしたが、東日本大震災直後ということで、取り下げたいとの申し出があり、議長が許可をいたしました。

議会の動き

水戸の梅大使来町

1月24日、10名の水戸の梅大使が来町されました。

1963年から、梅まつりPRのため選出し、当時は水戸の梅むすめという名称でした。新世紀を迎えた2001年から、「梅むすめ」から「梅大使」へ名称が変更され、男性でも応募可能となりましたが、現在まで梅大使に男性がなかったことはないそうです。



議員控室にて

町村議会議員自治研修会の開催



研修会の風景

2月25日、茨城県市町村会館にて、開催されました。

県内11町村の議会議員約130人が参加し、講師として拓殖大学海外事情研究所長 森本 敏氏、日常ながら運動推進協会会長 萱沼 文子氏の講演が行われました。

本町議会議員が受賞



2月15日茨城県市町村会館で開催された町村自治功労者表彰式において、多年にわたり地方自治の振興発展に寄与された功績により、下記の議員が受賞されました。

全国町村議会議長会から

根本 正典 議員

鯉 洩 秀 雄 議員

小松崎 三 夫 議員

茨城県町村議会議長会から

三 村 由利子 議員

臨時会報告

●1月27日(木)に第1回臨時会が開催され、次の案件が審議されました。

平成22年度 一般会計補正予算

2億8,224万円を追加

歳出の主なもの

- 公用車購入(2台) 500万円
- 桂老人福祉センター・やまゆり荘改修工事 330万円
- 道路維持改修工事(町内9カ所) 500万円
- 町営住宅解体工事(3棟) 648万円
- 消防車購入(3台) 625万円
- 小学校改修工事 5,780万円
- 学校給食センター備品等更新 5,105万円
- 図書館図書購入 800万円
- 小中学校図書購入 300万円
- 公共施設整備基金へ 1,501万円

議会事務局職員の異動

平成23年4月1日付けで、三村主局長が総務課へ小林恵子局長補佐が会計課へそれぞれ異動となり、後任として開発公社から仲田不二雄局長が農業委員会から所久美子主任書記が配属となりました。

平成23年3月11日

東日本大震災発生

3月11日、午後2時46分ごろ、大きな揺れが突然襲いました。三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の大地震が発生したのです。

城里町では、震度6弱を観測し、議会においては、当日、予算特別委員会の最中でした。

その時は、3階の会議室から、何も持たずに、ひたすら外を目指して、駆け降りたと記憶しております。

震災による被害や福島第一原子力発電所事故に伴う農産物の風評被害への対応など多くの課題がまだ残っており、お互い助け合いながら、町民一丸となつてこの困難な事態を乗り越えることが必要であると考えています。議会においても、執行部と協力し、全力で取り組んでいく決意であります。

この度の震災で被災された皆様方には、心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

城里町議会議員一同



(震災直後の議場・委員会室)

議会を傍聴してみましよう！

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。どんな計画があつてどのように進んでいるのだろうか。みなさんに身近なことです。

どなたでも傍聴できますので、ぜひ一度議会の傍聴にお出かけください。
(コミュニティセンター城里1階 サークル室の予定)

傍聴者報告

第1回臨時会(1月27日開催) 0人
第1回定例会(3月8日～17日まで開催) 延べ4人

次回の定例会は6月14日からの予定です。

日程など詳しいことは議会事務局へ

TEL.029-288-3111 (内線 302)

編集後記

このたびの東日本大震災により被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。この巨大な地震と津波、そして原発事故が重なり、未曾有の災害に発展してしまいました。本町においても、ライフライン、家屋の損壊等があり、現在も青いシートが覆う状況を見るとき痛々しく感じてなりません。

一日も早く復旧、復興をされますよう念じるばかりです。今後は、これを教訓に防災に強いまちづくりに取り組みしていくことが不可欠であると思えます。

さて、議会だより平成23年第1回定例会の審議結果をお届けいたします。なお、今回一般質問者5名の通告がありました。震災の影響で、各議員取り下げを余儀なくされたことを申し上げます。後記といたします。

小林 祥宏 記

議会広報委員会

委員長 小原 祥宏
副委員長 河原 大介
委員 杉山 清介
南条 治夫
加藤 文夫
余水 紀一
菌部 一夫